



三輪自転車に関する 購入や使用の際の検討ポイント

● 使用者や道路環境に合わせて検討を

三輪自転車に関する相談のうち、契約当事者はほとんどが高齢者であり、なかには転倒して骨折したという事例もありました。三輪自転車の購入や使用を考えている場合は、今回のテスト結果を参考に、**使用者や道路環境に合わせて検討**してください。

● できるかぎり事前に試乗し、 まずは平坦な路面で練習しましょう

車体が不安定で乗りこなせない等という相談が寄せられており、転倒した事例もありました。三輪自転車の走行特性は二輪自転車とは大きく異なります。二輪自転車に乗っている人もそうでない人も、**購入前にはできるだけ試乗し、購入後は平坦な路面で十分に練習**してから公道で使用しましょう。

● 後2輪のスイング機構を固定して走行する際は要注意！

スイング機構を固定して走行する際には、**カーブ走行や傾斜、障害物等の路面状況**により、転倒する危険性があります。スイング機構を固定して走行する際は、必ず**低速走行**を心がけ、傾斜のある路面や凹凸のある路面では自転車から降り、**押して歩**きましょう。



本内容の詳細は、独立行政法人
国民生活センター公式サイトに
掲載しています。
<http://www.kokusen.go.jp/>

くらしの危険

最新号やバックナンバーは
こちらからご覧いただけます。

公式サイト「くらしの危険」コーナー
<http://www.kokusen.go.jp/kiken/index.html>



●「くらしの危険」は、全国の消費生活センター、医療機関等から収集した情報をもとに、被害や事故の未然防止・拡大防止のために作られています。●特定の商品・サービス等を推奨するものではありません。●商品やサービス、設備によって起きた事故の情報を最寄りの消費生活センターにお寄せください。●無断転載はお断りいたします。



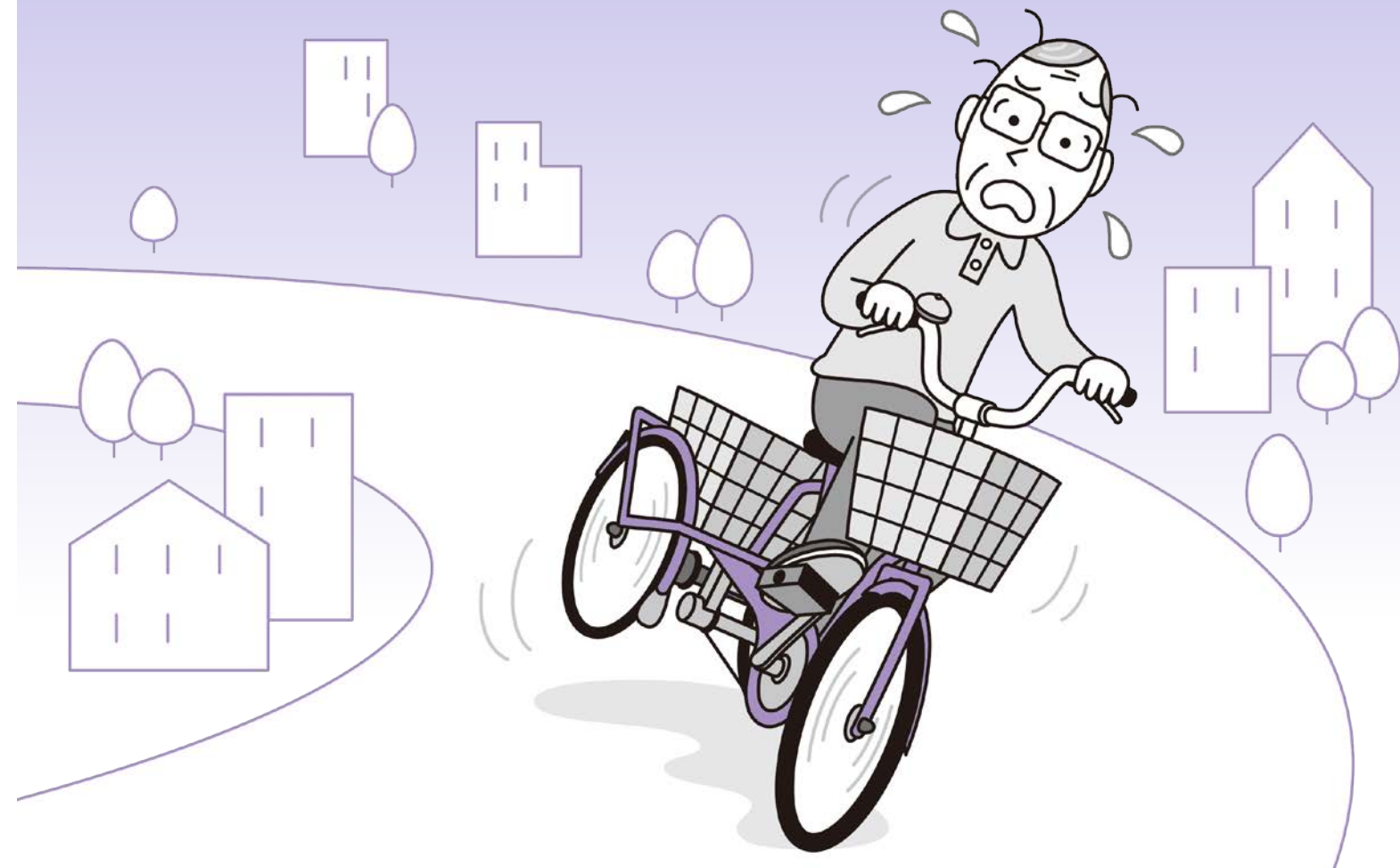
独立行政法人
国民生活センター

〒252-0229 神奈川県相模原市中央区弥栄3-1-1 TEL: 042-758-3165 ● 2019年 9月発行
イラスト: 川崎 敏郎

くらしの危険

Number
351

三輪自転車の走行特性について -高齢者が転倒し、骨折した事例も-



従来より大人向けの三輪自転車が販売されています。PIO-NETには、2013年度以降の約6年間に三輪自転車に関する相談は138件寄せられており※1、契約当事者※2は70歳以上が約7割を占めています。三輪自転車は二輪自転車より安定性があるように思われがちですが、走行中の挙動は二輪自転車とは異なり、カーブ走行や傾斜した路面を走行する場合には注意が必要です。三輪自転車の走行特性を理解したうえで、購入や使用を検討しましょう。

※1: PIO-NET(パイオネット: 全国消費生活情報ネットワークシステム)とは、国民生活センターと全国の消費生活センター等をオンラインネットワークで結び、消費生活に関する相談情報を蓄積しているデータベースのことです。2013年度以降受付、2019年1月15日までの登録分。なお、件数は公表のために特別に事例を精査したものです。

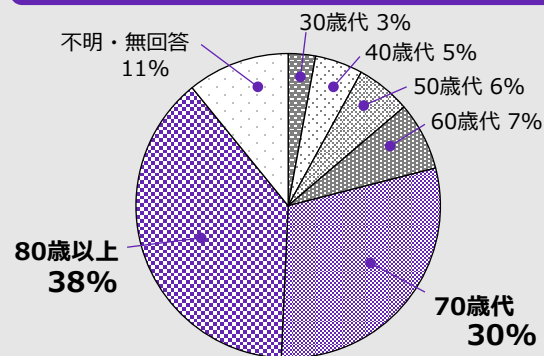
※2: 商品・役務を契約した人の属性を指します。

三輪自転車に関する 相談が寄せられています

全国の消費生活センターには、2013年4月以降、
138件の相談が寄せられています（2019年1月15日までの登録分）

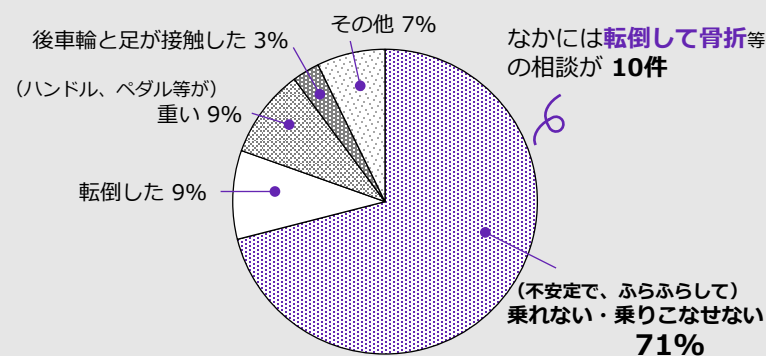
どんな人から相談が？

契約当事者の約7割が70歳以上



相談内容は？

「乗れない・乗りこなせない」
との相談が7割以上！



ケース 1

三輪自転車を購入したが二輪自転車と勝手が違い真っすぐに走れない。

(受付年月：2018年11月、80歳代・男性)

ケース 2

80歳代の父親に電動アシスト三輪自転車をプレゼントしたが、
乗った初日に曲がろうとして転倒した。

(受付年月：2017年11月、50歳代・男性)

ケース 3

高齢になったので倒れにくい三輪自転車の方が良いと思い、インターネット
で電動アシスト三輪自転車を購入した。発進する時に地面につけていた
左足が後車輪に巻き込まれてしまい、転倒してしまった。

(受付年月：2018年3月、70歳代・女性)

() 内は契約当事者の属性



表示 調査

二輪自転車とは異なる
走行特性に関する記載がありました

- 対象銘柄：テスト対象とした6銘柄
- 内容：商品カタログ及びインターネットの商品ページや取扱説明書の表示を確認

商品カタログ及び
インターネットの商品ページ

6銘柄中3銘柄に二輪自転車と異なる特性について記載あり
▶全銘柄に誰でも乗れる、転倒しない等、
誤認を与えるおそれのある表示はありませんでした

取扱説明書

全銘柄に二輪自転車と異なる特性について記載あり
▶スイング機構を固定できる全ての銘柄で、
固定した場合の注意点も記載がありました

●この調査の詳細は、独立行政法人国民生活センター公式ウェブサイトの発表情報「三輪自転車の走行特性に注意 - 高齢者が転倒し骨折した事例も - 」で見ることができます。

スイング機構とは

二輪自転車とは異なる
三輪自転車の構造をチェック！

車体前部をスイングさせる（左右に傾ける）機能
▶後2輪タイプの三輪自転車の多くに備わっています

メリット

二輪自転車に乗れる人には
違和感なく運転できる

デメリット

二輪自転車に乗れない人が
すぐに運転するのは困難



内蔵された
バネにより、
垂直状態に
戻す復元力
が働きます

スイング機構を固定できるものも！

金具で固定※3

レバーで切替



バランスを取らずに車体が垂直状態を保てる！

※3: 取り付けや取り外しは販売店等に依頼するよう、取扱説明書に記載されているものが多い

商品 テスト

このような場面で注意！

-様々な状況でテストしてみました-

- 対象銘柄：相模原市にある実店舗やインターネット通信販売で販売されている、後2輪タイプの三輪自転車6銘柄
- 内容：平たんなテストコースにて、直線走行やカーブ走行、傾斜面等の路面状況でテストを実施
- テスター：二輪自転車に乗ることができる30歳代男性

1 スイング機構がはたらく場合は、
二輪車に乗り慣れている人なら、道路状況によらず安定して走行可能！

2 スイング機構を固定した場合は、道路状況によって転倒する危険が！

▶ 平たんな路面上で
カーブ走行



走行速度※4が速いと
後車輪の片側が浮くことも

※4: 遅い場合（5km/h）と速い場合（8km/h）
で実施

▶ 平たんな路面から
左右に傾いた路面※5へ



後車輪の高さに左右差が生じた際
車体全体が傾き、乗員も振られる
後車輪の片側が浮くことも

※5: 左上がりでは高さは約10cmの傾斜面

▶ 障害物を通過



後車輪の片側が障害物に乗り上げ
た途端に、車体全体が傾き、
乗員も振られる

3 発進時の後車輪の巻き込みに注意！

地面に片足を着いた状態で発進したところ、
足を上げるタイミングが遅れた際に後車輪にひかれる危険性も

